

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○新しい価値と可能性を追究する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる

【学校 目標】

○全ての生徒が主体的・対話的であるということが伝わる授業づくりを通して、学ぶ力の向上を図る。

【現状と課題】

●視点1

生徒の知的好奇心に迫り、「わかりたい」「できるようになりたい」という思いを、主体的・対話的な学びの中で高めていく授業のあり方について、具体的な取組を明確にする必要がある。

●視点2

教員自身が課題と感じる授業改善の視点に、授業参観者が感じる課題点を加えながら、じっくりと考えを深めようとする授業をつくる必要がある。

●視点3

ベテラン層がもつ教育技術を授業研究会等で語り合うことで継承すると共に、新学習指導要領で示された3つの柱を軸としながら、改善の視点が焦点化され全体の授業力向上につながる研修を実施する必要がある。

視点	取組事項
【視点1】 学びを実感できる 授業づくり	<ul style="list-style-type: none">・主体的な取り組みにつながる学習の流れを構築する。・「ねらい」「めあて」を明確にした上で、「振り返り」を充実させ活用し学びの連続性を図る。・考えを交流したり、意見を発表したりする等学びを体感させながら内容の深化と定着を図る。
【視点2】 学ぶ意欲を引き出す 学習集団づくり	<ul style="list-style-type: none">・特別な教育支援が必要な生徒への適切な関わりを大切にし、居場所のある学級・学年づくりに取り組みながら、学習集団内に支持的風土の醸成を図る。・効果的なペアやグループでの学習形態を取り入れて、対話的な学びを推進する。
【視点3】 子どものために一丸 となって取り組む 学校づくり	<ul style="list-style-type: none">・子どもの学びの連続性を意識した、保幼小中連携を推進する。・小グループを組織し、相互参観と意見交流を通して、授業改善を日常的に意識できる研修体制を構築する。・授業を軸としながら、行事を含めた教育活動全般の指導改善を図る。